



写真提供：(株)采建築社

名称	HottoMotto棟					
所在地	〒814-0171 福岡県福岡市早良区野芥3丁目30-11					
竣工	2022年3月	階数	地上1階	階	最高高さ	3,530 mm
建築面積	96.58 m ²	延床面積	79.18 m ²		軒高	3,150 mm
施工会社	(株)采建築社	使用したCLT	24.16 m ³		用途	店舗
CLT利用部分(該当項目に☑あり)	<input type="checkbox"/> 屋根	<input checked="" type="checkbox"/> 天井	<input checked="" type="checkbox"/> 床	<input type="checkbox"/> 壁	<input checked="" type="checkbox"/> 階段	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (ユニット躯体)
CLTサイズ	(最大) 巾 2795mm x 長さ 8710mm x 厚さ 150mm					
構造	CLTパネル工法		防耐火仕様		防火構造	
構造別ルート	②告示第611号CLTパネル工法計算ルート		設計ルート		ルート2	
意匠設計	(株) Sai Design Architect		構造設計		(株)DN-Archi パートナー/北九州市立大学 准教授 藤田慎之輔	
確認審査機関(支店名)	ビューロベリタスジャパン		適合性判定機関(支店名)		-	

特長

2022年3月16日(水)、(株)采建築社 本社の向かい側に「ほっともっと野芥店」がリニューアルオープン。SAI グループホールディングス(株)にて開発の『CLTセルユニット工法』を採用した移動・リユース可能な建築(店舗)です。CLT利用は、国産材の消費を推進し林業従事者雇用を助け、再度、日本を世界に誇るべき林業国に押し進める方策です。国策の新材料CLTを使用して構成した『CLT CELL UNIT』2台を離隔配置し、ユニット内の空間利用と共に、ユニット間の大空間を梁をかけて利用する建築です。世界初となる新しい建築工法であり、循環型資源である木質系材料「CLT」の利点を生かし、箱型木製ユニットを基本単位Cellとして、自由に組み合わせて建築を造る事の出来る、新たな創造とオープンインベーションを可能にした構造躯体です。工場でユニット組立、プレファブ化することで、現場に最短1日で設置可能となる。基礎の上に据え置き、連結、連層して、まるでレゴブロックのように簡易な工事を可能として、施工工期を短縮します。RC建築と比較しても軽量化され、暖かみのある木質空間を実現、環境に優しく、人に優しい素材で大きな魅力の一つです。今回の店舗施工には、新構造躯体『CLT CELL UNIT』に加えて、PCa基礎(コンクリート)として、北九州市環境未来技術開発助成の活用元、北九州市立大学の高巣教授を中心に小倉セメント製品工業様と共同開発された環境配慮型『改質フライアッシュコンクリートを使用したPCa基礎』(世界初)となっており、SDGsコラボ商品建築となっています。『CLT CELL UNIT』(CCU)や環境配慮型コンクリート等の利用により、SDGsに基づいた社会貢献や温かみのある天然木のおいし風合いによる、ゆとりのある空間づくり。食文化と木造建築文化、多面性あるサステナビリティな店舗となっています。